

日 田 商 工 会 議 所

商工会館建設特別委員会記録

1. 日 時 令和7年10月27日（月） 13時30分

2. 場 所 日田商工会館 4階 議員サロン

3. 出席者名 (委員長) 瀬戸亨一郎
(委員) 河津 龍治、園田 匠、小野 智宏、梶原 義一、佐竹 邦恵
(会 頭) 十時 康裕
(オブザーバー) 高倉 貴子
(専務理事) 樋口 恒成
(事務局) 大石 昭典、栗野 稔

4. 議題

1. 商工会館建設に向けた対応について
 - ・建設設計の検討
 - ・建設資金の検討
2. テナントに対する意向調査について
3. 今後の商工会館建設特別委員会のスケジュール(案)

5. 会議概要

定刻となり、大石事務局長より開会を告げ、冒頭に瀬戸委員長より開会に際してのあいさつがあり、建設予定地や大まかな方針が承認されたことに伴い、設計方法や資金調達についてご協議頂きたい旨述べられる。

委員長が議長となり議事進行。議題1. 商工会館建設に向けた対応について、上程。樋口専務理事より、建設設計の検討について、資料によりコンペ方式とプロポーザル方式の概要を説明。飯能商工会議所の事例を参考にプロポーザル方式にて検討したい旨説明がある。また、建設資金の検討について、経産省や県・市を絡めた補助金、木材活用やコミュニティ施設設置、災害時避難所指定などの補助金について説明。議長より質問意見を募り、以下の通り質疑応答が行われる。

建設設計の検討

【十时会頭】

プロポーザル方式では、対応は落札した一社での対応となるのか。

【樋口専務理事】

複数社の入札を想定しており、落札した一社との契約となる。

【河津委員】

プロポーザル方式は設計対応業者の負担が大きくなるため、市内の設計業者では応札が難しく、応札は市外の大手設計業者となるかもしれない。また、コスト面でも負担増となる。

【瀬戸委員長】

市内設計業者の共同体による応札も可能ではないか。地元の設計業者、地元の建設業者、地元の木材を活用できるように進めていきたい。

建設資金の検討

【瀬戸委員長】

考えられるすべての補助金情報を取得して、最大限活用したい。（日本商工会議所の保有する情報を調査、取得するよう指示あり）

【河津委員】

複数の補助金をうまく引き出して、最大限の活用を目指す。（日田市からの補助金を引っ張り出すよう働きかけるよう指示あり）

【十时会頭】

日田市の関係部署（商工関係）を巻き込んで、日田市の商工業者の発展に寄与する施設となるよう、一体となって取り組む方がよい。市長あてに要望書を提出してはどうか。

【瀬戸委員長】

運営資金積立金の残高、補助金の受給額等を精査し、寄付金の計画を策定したい。来る 11/4 の臨時議員総会にて、日田市長へ要望書を提出したい。

議長より、議題 1 について、設計についてはプロポーザル方式を採用する方向で進めていき、補助金の活用を検討しながら資金計画を策定、また日田市長に要望書を提出するなどの協議内容を諮るに、意義なく承認される。

議題 2. テナントに対する意向調査について、上程。樋口専務理事より、調査結果として、基本的にはテナント 8 件すべて移転後の入居を希望しているが、広さや賃料は据え置きしてほしいとの要望があり、判断材料として入居条件（広さ、家賃等）の事前提示を希望している旨説明があり、瀬戸委員長より、テナントの事務所部分は小型化により賃料は極力維持する方向で検討し、会議等は共用スペースを有効活用することで対応したい。原則現在の入居者を優先して、他の入居希望者にも柔軟に対応したい。職員の配置についてはフリーアドレス（資料の共用化）などを積極的に導入して、地域の先進的なパイロットモデルとして推進したいとの説明がある。

引き続き、テナントとは情報提供と対話を重視して対応することで承認を得る。

議題 3. 今後の商工会館建設特別委員会のスケジュール(案)について、上程。瀬戸委員長より、本日の協議内容を取りまとめ、当面のスケジュールとして、11/4 の臨時総会にて現状を説明、承諾を得た後、プロポーザル方式にて入札を行い、次年度の総会で承認を得て、契約・設計と進め、同時に補助金等の申請を行い資金繰りの検討を進めたいとの説明があり、諮るに承認される。

最後に、引き続いての協力方を委員長よりお願いし、会議を終了した。

(14時40分)